

2020年5月の行事予定表

1	金		16	土	
2	土		17	日	礼拝式
3	日	礼拝式、教会役員会	18	月	
4	月		19	火	
5	火		20	水	
6	水		21	木	祈禱会
7	木	祈禱会	22	金	
8	金		23	土	
9	土		24	日	礼拝式
10	日	礼拝式、奉仕の日	25	月	
11	月		26	火	
12	火		27	水	
13	水		28	木	祈禱会
14	木	祈禱会	29	金	
15	金		30	土	
			31	日	礼拝式、教会の清掃日

5月お誕生・洗礼記念日の皆様、おめでとうございます。

編集後記

- ◇ イースターおめでとうございます！！「この時代」に洗礼式をもてたことは神様の大きな憐みです。感謝！
- ◇ 多くの教会が新型コロナウイルスの感染対応に苦慮している中、岡山ナザレン教会も礼拝のライブ配信と、メールによる日ごとの糧と夕べのみ言葉の配信を行っています。日ごとの糧は使徒言行録ですね。共に集まることを基本とした初代教会の姿を見るとき、集まらない今は教会の危機ともいえるでしょう。しかし、集まって何をしていたかを掘り下げてみると、私たちの在り方も教えられる気がします。
- ◇ こういう時だから、静まってみ言葉に聞きたいと思わされます。

# 教会月報

2020年5月  
No.349

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

新型ウイルスとの共存

「そうだ、言うておくが、この方を恐れなさい。五羽の雀は二アサリオンで売られているのではないか。だが、その一羽さえ、神の前で忘れられてはいない。」

ルカ福音書 12章 5-6節

現在、今世紀最大の危機が地球上を襲っています。紀元前の昔から人類は様々な感染症と戦ってきた歴史があります。

今日、世界中に猛威を振るう新型コロナウイルスによるものであります。治療薬もいまだ開発されず、世界中の英知が集められ、治療薬の発見や、ワクチンの開発に最大限の努力がなされています。一日千秋の思いで新しいワクチンの登場が待たれる昨今です。治療現場も大混乱に陥っており、医療従事者が十分な防護体制もとれない中、奮闘しておられることに敬意を表します。今後も必要な物資が届けられ、治療に従事して頂きたいと思ひます。

さて、このような世界的なパンデミックはスペイン風邪やコレラによる感染症を人類は歴史的に経験していますが、世界的に経済、文化、政治等に及ぼす影響は計り知れないでしょう。ところで、聖書は異常な現在の状況に対し、何と語るのか？

いたるところで見かける雀はかわいい。しかし、弱い存在の代表とも言えます。けれども神はスズメ1羽さえ忘れることが無いとおっしゃるのです。それに比してあなたがた人間に対してそれ以上ではないかと語られるのです。

現在の私たちは、混乱の中、見るべきものを正しく見ていないのではないかと。すなわち、神の存在であります。新型コロナウイルスを恐れなければなりません。しかし、それ以上に神を畏れつつ、神に生かされていることに目を向けたいと思ひます。

牧師 永松 清





例年とは異なり、少ない人数での礼拝が続く2020年。それでも今年も主の復活を祝うイースターの日がやってきました。

「室内での集団活動を控えるように」という厳しい状況が続くなかでも今年は16名の方が礼拝に出席され、それぞれの間隔を空けて復活を祝う朝を迎えました。

この日もYouTubeでのインターネットによる礼拝の配信が行われて最初から最後まで自宅等での礼拝に参加された方が10数名居られました。

永松師は『復活を信じる』と題して《ルカ福音書24章1-12節》を引用しイースターのメッセージを述べられました。主のあがないによって罪を赦され、主の復活を信じる者こそが信仰の道に進むことが出来ると語られたイースターのシンプルで簡潔なメッセージは再び心に燃える思いを灯して下さいました。

その後はこの日に信仰の道に導かれたS.T.姉妹の洗礼式！永松師からの勧告を誓約し、滴礼によって新たに当教会に加わった『T.姉妹』に参加人数分以上の大きな祝福の拍手が注がれました。

そして初めて参加されるT.姉妹を加えての聖餐式。いつものイースターより少ない人数でしたが、洗礼式の直後での聖餐式は何時にも増して新たな感動の時間となりました。

この先、どのような状況になるか非常に不透明で不安な思いをすべての方が抱きながらの礼拝が続いています。ただ、このような中でも神さまは新たに救われた魂の恵みを我々に示して、神の愛が常に私たちに注がれていることを教えて下さいました。この感謝と感動を忘れない、そのような思いが刻まれた素晴らしいイースターでした。

来年のイースターには多くの方が集い、共に祝うことが出来るようにと心から願い、祈ります。



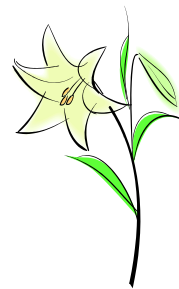
## イースターに洗礼を受けて

S.T.姉

今日はありがとうございました。

世がコロナで萎縮と混乱をしている中、主イエス・キリスト様の復活日(イースター)に、外気が10度程と気温が低い中で皆様にみまもって頂きながら、永松 清牧師より洗礼を受けさせて頂き、水の心地よい冷たさを受け体は暖まる不思議さがありました。

また、教会が厳粛に生き生きと力強く存在し聖書の言葉が響きわたるようでした。



## 教会総会報告

4月26日の礼拝直後より2020年定例教会総会が行われました。感染症対策のために会場出席者はわずか7名、委任状出席が27名という異例の総会となりました。永松師の報告に続き昨年度の書記その他の各部活動報告、会計決算報告や予算案、活動計画案等も審議され、問題なく了承されました。

## 礼拝出席者の声

### イースター礼拝出席の恵み

I.S.姉

今年のイースターは2020年4月12日。

3年前の4月12日、私は希望と不安を抱いて、北海道から敦賀に向かうフェリーの船上にありました。生まれてから数十年暮らしていた地を離れて岡山に来た私にとって、暖かく迎えていただいた岡山教会に故郷のような懐かしさをおぼえたことなどを、思い出します。永松先生ご夫妻、兄弟姉妹、なによりも主に支えられて、3年間歩んでこられたことに、イースターの喜びの中で感謝の祈りをささげられたことは、何よりも大きなめぐみでした。コロナなどの影響も出始め、厳しさを増す日々ですが、新たなる復活のイースターがさらなる歩みへのスタートとなったこと、心から感謝します。



### イースター礼拝に参加して

M.O.兄

イースターに久しぶりに教会に来ました。皆さんと会えて本当に嬉しいです。

コロナウイルスの状況で動画配信で日曜礼拝に参加していましたが、S.T.さんが今日の復活日に受洗されると礼拝で見ましたので、是非行かなければと思い行動しました。本当におめでとうございます。私も一年前に洗礼を受けまして感慨深いもの受けました。永松先生の説教でキリスト教信仰の神髄は、十字架と復活にあるという言葉はいろんなことを学ばせてもらいました。

今日の受洗されたTさんについて感動した事を言わせてもらいます。少し前ですが永松先生が体調を崩された時に献身的な行動に感銘を受けました。本当に良い姉妹が出来たことを大変嬉しいです。私も日々絶望から希望へと導かれる復活信仰の言葉をもう一度見つめなおしていきたいと思って、勉強していきます。



新年度は教会員の方々に礼拝出席の自粛をお願いしている都合上、礼拝出席人数が激減する状況となり様々な問題も出てきています。この試練の時こそ主に拠り頼みつつ心一つにしてこそ、これからの教会の歩みが生まれると実感した総会となりました。